

平成25年度第2回花巻市子ども・子育て会議 会議録

日 時 平成26年3月19日（水）午前10時から午前11時30分まで
場 所 花巻市文化会館 1階 第1・第2会議室
出席委員 中村良則委員、阿部志郎委員、高橋和矢委員、細矢和男委員、柳原賢一委員、
照井義彦委員、菊池ゆかり委員、瀬川和子委員、佐藤ユキ子委員、
堀澤美保子委員、牛崎恵理子委員、菊池恵美子委員（12名）
欠席委員 高橋岳志委員、岩館陽美委員、大峠良子委員、藤戸妙子委員、今野充雅委員、
鎌田文聰委員、伊藤隆規委員（7名）
市出席者 健康子ども部出茂部長、子ども課久保田課長、小原課長補佐、村田係長、
小松主査、伊藤主事

1 開 会 久保田課長

2 あいさつ

(1) 中村会長

先日ベビーシッターの悲惨な事件が起きた。行政や地域の中で子どもを救いきれない部分が多々あると感じる。

今日報告されるニーズ調査の数字の背後には一人一人の子どもがいることが大前提である。一人一人の子ども、そしてその家庭を支援していきたい。今日はニーズ調査の結果を受け、皆様から様々な意見をいただきたい。

(2) 健康子ども部出茂部長

日頃、子育て支援に関して様々な面で協力をいただき感謝する。また、来年度から本格的に計画策定を行うため、さらなる協力をいただくようお願い申し上げます。

また、役所内の組織再編により、4月から子ども課の子育て支援係・保育学童係は教育委員会の子ども課となり、家庭支援係は健康福祉部の地域福祉課となる。

本日のニーズ調査の報告は相当な量のデータとなるが、よろしくようお願い申し上げます。

3 議 事

(1) 花巻市子ども・子育て支援に関するニーズ調査の集計結果について

(村田係長より資料3について説明)

[質疑等]

(中村会長) 将来の推計は現在の現状と比較できるような掲載の仕方のほうが良いと思われる。

(村田係長) 次回以降の資料では現状との比較ができるものを用意できるよう進めてまいりたい。

(菊池ゆかり委員) 資料3の7ページ下部の表について、推計児童数よりもニーズ量が多くなっている理由は何か。

(村田係長) このニーズ量は延べ人数であるため推計児童数よりも多くなっているも

のである。

(照井委員) 調査の回収率は約65%ということであるが、回収された分の数値だけではなく、回収率100%だった場合にどのような数値になるかを計算するのが本来の推計ではないか。

(久保田課長) 現実との乖離にどう対応していくかがこの計画の課題である。次回以降の会議では、サービスを利用している方の実数を把握し、委員の皆様が考えをまとめやすいような形にして提示したい。

(照井委員) 幼稚園には、学校教育法により満3歳からの児童が在籍しているが、その年度に3歳の誕生日を迎える児童について、4月から誕生日を迎えるまでの期間は、資料3の3ページの1の表の保育認定①には該当しないものとなる。該当するとすれば保育認定③であるが、もし①～③のいずれにも入れない場合はそこが制度の穴になってしまう。その場合は4番目の認定が必要になると考える。

(久保田課長) 花巻市では年度途中で誕生日を迎える児童についても幼稚園に入所できるようにしている。国では満3歳以上と定められており、市としても国に確認をしたいと考えていた。確認のうへは但し書き等で示す必要があると考える。

これまでそれぞれの制度のもとで実施していた事業が一体のものとなる。均衡を保ちながら進めていくためには様々な課題が出てくると思われるが、市としてはこの制度の中でどうしていくかを皆様の意見をいただきながらまとめ上げていきたい。

(菊池恵美子委員) おおむねニーズ量が年々減っていくとの調査結果だが、転入があるため実際にはさほど減らないのではないかと。入園・入学を機に市外から戻ってくる例がある。東和地区の小学校が東和小学校に統合になる前の説明会の際に、東和小学校の入学児童数は5年以内に激減すると市から説明があった。しかし、あれから3年経ち、当初市が見込んでいた推計に比べるとさほど減っていない。転入についてのデータを含めて考えれば、今回の調査結果のような減り方はしないのではないかと。

(久保田課長) 年間の年齢別転入者数のデータがあれば一つの指標として示すことはできると思われるが、そこは検討させていただきたい。

(出茂部長) 今回は国から示された算出方法に基づいた計算結果をお見せしたが、集計を終えたばかりのデータであり、今回皆様がおっしゃったような、現状に即したデータにするところまで至らなかった。次回会議の際には今回いただいた意見を加味して資料をまとめ、皆様の意見を伺いたいと思う。

(2) (仮称) 花巻市子ども・子育て支援事業計画の策定に向けた取組について

(村田係長より資料4について説明)

[質疑等]

(中村会長) 資料4の9ページ以降の部分はこの文言のとおり定められるものであるか。

(村田係長) 活かす部分もあれば、現状に合わせて修正する部分も出てくる。子ども・子育て会議でもこの部分について諮りながら内容の検討を進めていきたい。

(久保田課長) 今回載せたものはあくまで骨子の素案である。保育の提供の量、確保方策について等必須の事項は載せているが、例えば事業所ごとの子育て支援や、ニー

ズ調査で市独自で質問項目に盛り込んだもの（障がい児を持つ保護者が市へ期待する子育て支援のサービスについて）の調査結果等をさらに計画に活かしていきたい。

（中村会長）計画の基本理念・基本目標の部分についても変わる部分はあるか。

（出茂部長）今回は花巻市次世代育成支援後期行動計画を例として掲載しているが、現在市の総合計画が動いているところである。さらに、具体的にどのような事業でどのように展開していくかを決定する中期計画もこれから策定するところである。それらの資料も今後示したい。

（3）子ども・子育て支援新制度に係る条例で定める基準の概要について

（村田係長より資料5について説明）

〔質疑等なし〕

4 その他 事務局より連絡

現在の委員の任期は今年の3月31日までであることから、現在の委員による会議は今回が最後となる。4月以降の委員の委嘱についてはこれから準備を進めてまいりたい。

5 閉 会 久保田課長

本日はお忙しい中お集まりいただき感謝申し上げます。以上で第2回花巻市子ども・子育て会議を終了する。